

第7弾『絵のあるまちづくり』

目的 地域の皆さんといっしょに公共施設の壁面などを活用し、絵を描くことで、地域のこどもたちに景観を「守る心」、「育てる心」を養ってもらい、景観保全、落書き防止などに結び付ける。

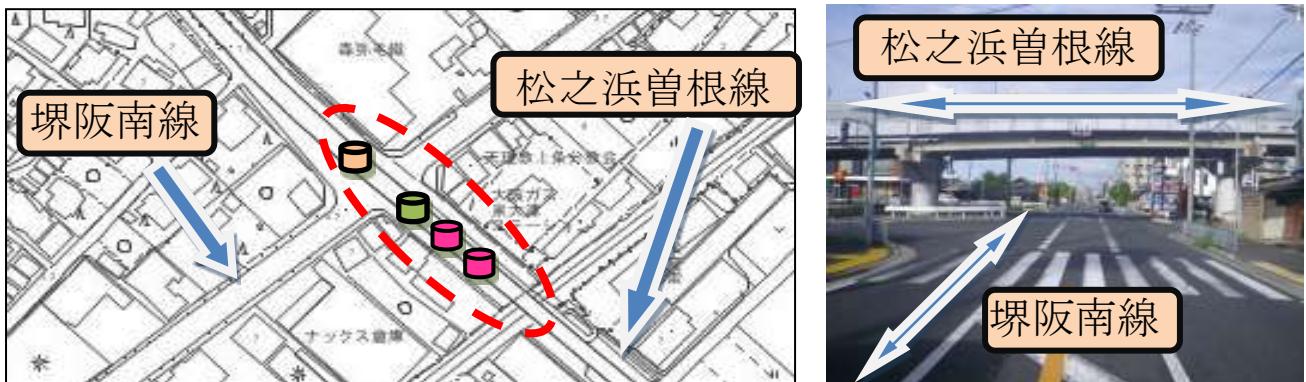
主催 景観市民会議「景観人の集い」

共催 助松町自治会

実施日 平成27年10月19日（月）
～10月25日（日）

場所 泉大津市松之浜町 松之浜曾根線高架橋下
橋脚（4箇所）、歩道橋スロープ側面

※この活動で使用した塗料は、日本ペイント株式会社から寄贈いただき、その他の経費は、深喜人材育成基金を活用しております。



『絵のあるまちづくり』も今回で7回目となりました。今回は、助松町自治会の皆さんといっしょに堺阪南線と松之浜曾根線の交差点、高架下の橋脚とスロープの壁面に絵を描きました。

この場所は、助松町と松之浜町の境界にあるということもあり、地域にちなんで、一本の柱には「松」を描いています。また、その向かいには、鮮やかな赤い実のなる木や小鳥、スロープには手をつないだ子どもたちを、そして南海電車に面する方には、華やかな桜の木を描き、高架下の暗い雰囲気が一気に明るいものとなりました。ぜひ、ご覧ください。

作業前の風景



作業中の風景



完成後の風景

